

補助事業番号 19-1-002

補助事業名 平成19年度 サイクルスポート施設の整備等補助事業

補助事業者名 財団法人 自転車センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

野外活動を通じて国民の心身の健全な育成に資するため、サイクルスポーツを中心とした体育施設を整備してサイクルスポーツの普及啓発を図り、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

#### ①施設建設整備工事

##### (1) キッズ・フィットネス広場新設工事

本事業は、幼稚園児・小学校低学年の学校団体及び小さな子供連れの一般のファミリーをターゲットとし、現代社会において携帯ゲーム機の普及や子供達が安全に体を使って遊ぶ事のできる広場等の減少により子供達の健康について不安が見受けられるなか、子供たちに体を動かして遊べる場を創造し提供する事を目的に実施いたしました。

具体的には、エリアを巨大な自転車パーツで形成し、内部に自転車の部品に関するクイズや自転車の歴史等、子供達が自転車に一層の興味を示すようボードによる展示も行い、クイズラリー的な要素を持たせ、自転車について学ぶと共に自主的半強制導線を設定し、運動効果を一層高め健康促進に役立てるよう事業の実施をいたしました。

##### (工事内容)

- 既設撤去工事 一式
- 遊具設置工事 一式
- サイン工事 一式

##### (2) 野外活動施設整備工事

当センターの野外活動施設は、ファーストキャンプの実践に適した環境設備を持っており、特にバンガローはキャンプ場のメイン施設であり、快適さや安全性が利用者の拡大につながるものであります。

利用者の生の声を聞き、平成17年度・18年度事業においてホワイトバンガローのリニューアル工事を致しました結果、電気・水道・エアコンの設備により、18年度8月は対前年の200%を越す売上があり、来場者に大変好評で満足頂いております。

本工事は、今年度の利用実績・利用者の意見等を踏まえ、13年が経過し老朽化が目立つ現存のブルーテントバンガロー4棟の基礎を活用し、本年度も引き続き費用対効果のバランスを考慮したうえ、リニューアル工事を実施いたしました。

また、残りの現存バンガローにおいて、多様な利用者のニーズに応じ、照明器具・コンセントを取り付ける電気設備工事を実施いたしました。

##### (工事内容)

- バンガローリニューアル工事 4棟

○バンガロー内照明器具・コンセント取付工事 一式

②施設点検安全対策工事

(1)サイクリングコース安全対策整備工事

本施設はこれまでも利用者の安全を考慮し幾度となく安全対策の工事を行なって参りました。しかしながら、本施設はスポーツ感覚の強いコースになっており、現在の日本における車社会の環境下では、自転車に乗る環境が少なく、自転車に乗りなれない人が多くなってきており、乗りなれない人の事故が多く発生しております。

よって、本施設のスポーツ感覚の強いコースの一部拡幅工事をはかり、より安全な施設として整備工事を実施いたしました。

(工事内容)

○サイクリングコース拡幅工事 一式

(2)場内設備安全対策整備工事

当センターのプールは50mプールをはじめ円形プール(中心部に直径8mのドーム型エアーマット「ファファドーム」を設置した遊びのプール)、変形プール(滑り台のある遊びのプール)の3面を設置し、オープン以来森の中のファミリープールとして多くの人々に利用され親しまれております。

毎年シーズン前に点検・部分修理を行っておりますが、特に円形プールにつきましては、エアーマット部が経年使用に伴い劣化、シート防水と床面との間に水が入り、部分補修だけでは防水としての機能に支障をきたしてあり、また水質保全のための濾過給水口が遊泳時に手の届く場所にあるため、利用者の安全面にも支障をきたす恐れがあります。

このようなことから、子供達に人気の高いプールを、オールシーズン利用できる施設としてより楽しく安全な遊具を提供するためのリニューアル工事を実施いたしました。

(工事内容)

○円形プール(ファファドーム)リニューアル工事 一式

③車両購入

(1)自転車購入

当センターにおける自転車施設(サイクリングコース・変り種自転車)の利用は順調に推移し、春・秋の行楽シーズンを中心に一般来場者をはじめ学校団体・地域子供会・職域団体、さらにはスポーツクラブなどの団体等に幅広く利用されている為、利用者の身長はもとよりニーズに合わせ各種サイズ等を用意する事が要求されます。

当センターでは、各メーカーの最新車両をいち早く導入し不特定多数の利用者に情報発信をし、利用後の販売促進にも成果をあげております。

しかしながら、利用頻度に伴い、故障・部品の消耗が激しく、その都度部品の交換や日常の保守点検整備に努めておりますが、5年以上経過すると各部の損傷により各車種の買い替えが必要となります。

また入場者の80%以上が利用し、市町村等公共団体や一般施設のモデルになっている変り種自転車は、利用頻度も非常に高く各部の消耗・複雑な作りによる故障、さらに、新鮮さ・話題性が要求される乗り物の為、随時入替えが必要とされます。

よって、来場者のニーズに応え、またリピーター確保に向け自転車各種を購入いたしました。

(購入内容)

○サイクリングコース用自転車 (20~26 吋) 75 台

○変わり種自転車 41 台

#### (2) リニューアル車両購入

サイクルリニューアル施設は、平成9年3月15日のオープン以来9年半が経過し、オープン当時の予想より、年々利用者が増え、センターを代表する目玉の施設となっております。

しかしながら、車両のボディが経年使用により大変みすぼらしく補修が困難状態になってきておりますので新しく車両を購入いたしました。

(購入内容)

○リニューアル車両 10 台

### ④ 普及啓発

#### (1) 広報活動

##### ・ テレビ広告

マス・メディアのなかでも一般不特定多数を対象に最も影響力があるテレビを活用して、来場者の増員に繋げ、自転車に関して広く普及啓発を図る事を目的と事業の実施をいたしました。

実施には放映時期や放映時間、放送局、ターゲット等を十分に考慮致し、ファミリー層を中心に全年齢層をカバーできる時間帯でのスポットCMの放映並びに自転車のテーマパークである当センターの魅力を確実に伝えられるように考慮したCM素材を制作致しました。

(実施内容)

スポット広告 民放V局及びU局におけるスポットCMの放送

同上フィルム制作 通年放送用フィルム及び各催事向けのフィルムの制作

##### ・ 雑誌広告

テレビ等に比べて読者層が比較的明確であり、情報量が多く、保存性・回読性の高い雑誌を利用し、伝えたいターゲットに広く当センターを認知頂き、来場者の増員に繋げ、自転車に関して広く普及啓発を図る事を目的とし事業の実施をいたしました。

実施には、その都度有効な印刷媒体を調査研究し、臨機応変に対応できるよう考慮し、中高生からヤング層にかけて情報発信をしている雑誌や、中高年層に情報発信している雑誌、広く一般に情報発信している新聞や折込みチラシ、電車や駅構内広告等に対しての広告掲載、及び自転車のテーマパークである当センターの魅力を確実に伝えられる様に考慮した宣伝素材を制作いたしました。

(実施内容)

雑誌等広告 雑誌や新聞、その他印刷媒体における広告の掲載

同上素材の制作 各季節や催事に合わせた広告素材の制作

#### (2) サイクル活動普及事業

##### ・ 四車連対抗自転車競技大会

四車連対抗自転車競技大会は、一般市民の自転車競技への理解を深め、選手の競技レベルの向上を目指して、アマチュアの競技団体を構成する実業団・クラブチーム・大学生・高校生からなる各団体の対抗戦形式のトラックレースとして平成5年から実施してきました。

本大会では、国体などで活躍する選手が参加するほか、実業団で中央大会に参加する選手や高校生も、同じレースを行なうことのできる唯一の大会でもあります。

各地で行われるピスト競技大会への参加者が減少傾向にある中、「気軽に参加できる」「出場種目を選べる」「憧れの選手と一緒に走れる」と参加者の立場に立った競技大会を運営してきました。

さらに、本競技にはプロ選手のオープン参加及び模範競技も同時に行い、双方のコミュニケーションも図っております。

これらの実績成果から四車連競技大会を実施いたしました。

(事業内容)

実施場所 関西サイクルスポーツセンター内競技場

実施内容 自転車競技4団体による対抗戦・自転車競技  
・集客イベント

本事業は、広く一般大衆に対して、当財団が運営する自転車のテーマパークである関西サイクルスポーツセンターへの来場意欲を促進し来場者の増員に繋げ、自転車に関して広く普及啓発を図る事を目的とし、年間を通じて最も集客が期待できる7月から8月に実施いたしました。

平成18年度では、幼児用プールの増設に合わせプールイベントをメインに展開しましたが、平成19年度も引き続きプールイベントをメインに据え、スポーツ施設である当センターのプールの存在を一層一般に認知いただけるよう実施いたしました。

さらに、小さなお子様やファミリー向けのイベントの実施や、ヤング層やシニア層に関心を持って頂き自転車の普及啓発を図る為、スポーツイベントや自転車イベントを実施いたしました。

(事業内容)

実施場所 関西サイクルスポーツセンター

実施期間 夏休みから秋期間

実施内容 夏期通しイベントの開催

スポットイベントの開催

センター内外でのイベント告知

## 2. 予想される事業実施効果

### ①施設建設整備工事

福祉・高齢化社会を迎えた昨今、緑あふれるくつろぎのある空間・リラックスできるスペースを来場者に提供することにより施設全体のイメージアップにつながりシルバー層、低年齢層の来場者の層が広まり自然の中でのサイクルスポーツをより一層満喫していただけるほか、今後の集客においても不特定多数の来場者を迎えることができると予想いたします。

## ②施設点検安全対策工事

当センターは不特定多数の来場者に、健康・やすらぎ・安全を提供しております。本工事により、その来場者及び当センター地域住民の安全と安心を確保することができ、安全への取り組み姿勢が評価され、口コミによる利用者はもとより当施設に対する認識が高まると予想いたします。

## ③車両購入

常に新しいものへのこだわりを追求し、快適にサイクリングできるよう自転車を導入したことにより、絶えず利用者にインパクトを与えることができ、自転車販売促進に寄与していると確信しております。また、変わった形・動きをテーマに制作された変わり種自転車を導入することにより利用者に対し、自転車の楽しさをアピールしております。自転車の快適さ・楽しさ等をアピールすることにより、サイクリング人口の増加と普及につながると予想いたします。

## ④普及啓発

今後、CO2を排出しない地球環境に優しい自転車、有酸素運動による健康促進等を広くアピールする事により、安定した入場者数を得る事ができると予想されます。さらに自転車の展示会や集客イベントの開催による誘致で、不特定多数の来場者を確保する事で、学校団体・職域団体・地域団体・スポーツ団体などより多くの人々の利用促進に繋がり、自転車の普及活動を行う事で、自転車の利用促進に繋がるものと予想されます。

## 3. 本事業により作成した印刷物

プログラム 300冊

## 4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：財団法人 自転車センター（ジテンシャセンター）

住所：586-0086

大阪府河内長野市天野町 1304

代表者名：理事長 松永 弘（マツナガ ヒロム）

担当部署：総務部（ソウムブ）

担当者：永池 摩弥（ナガイケ マヤ）

電話番号：0721-54-3100

F A X：0721-54-1717

E-mail：[soumu@kcsc.or.jp](mailto:soumu@kcsc.or.jp)

U R L：<http://www.kcsc.or.jp/>